



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 THK株式会社

コード番号 6481 URL <http://www.thk.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 寺町 彰博

問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略本部財務経理部長

(氏名) 中根 建治

TEL 03-5434-0300

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	172,733	7.8	18,293	△13.8	17,210	△34.9	11,322	△38.0
27年3月期第3四半期	160,299	17.2	21,226	73.9	26,445	45.9	18,254	56.9

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 5,480百万円 (△68.1%) 27年3月期第3四半期 17,160百万円 (△22.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	89.44	—
27年3月期第3四半期	144.20	—

・当社グループは、平成27年8月31日にTRW Automotive Inc.(現在はZF Friedrichshafen AGのグループ企業)の欧州及び北米のL&S(リンケージ アンド サスペンション)事業を譲り受けました(一部は株式取得による子会社化)。当第3四半期の被取得企業及び取得した事業の業績(平成27年9月1日～平成27年9月30日)は、四半期連結損益計算書に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第3四半期	403,001	250,023	61.2	1,948.86
27年3月期	373,610	250,498	66.3	1,957.48

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 246,702百万円 27年3月期 247,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
28年3月期	—	25.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	234,500	9.1	21,800	3.8	20,100	2.6	13,700	3.0	108.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

THK RHYTHM AUTOMOTIVE MICHIGAN CORPORATION、THK RHYTHM AUTOMOTIVE CANADA LIMITED、THK RHYTHM AUTOMOTIVE GmbH、THK RHYTHM AUTOMOTIVE CZECH a.s.
新規 4社 (社名) 、 除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.5「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.5「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	133,856,903 株	27年3月期	133,856,903 株
28年3月期3Q	7,268,901 株	27年3月期	7,266,746 株
28年3月期3Q	126,589,084 株	27年3月期3Q	126,592,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、中国をはじめとする新興国で経済成長が鈍化した一方、欧米を中心とした先進国がけん引役となり世界経済は緩やかな回復が続きました。日本では経済は緩やかな回復が続いたものの、生産や輸出など一部では弱い動きが見られました。

当社グループでは、LMガイドをはじめとした当社製品の市場を拡大すべく「グローバル展開」と「新規分野への展開」を成長戦略の柱として掲げています。グローバル展開においては、中国をはじめとした新興国ではFA (Factory Automation) の進展などを背景としてマーケットは成長し、先進国でもユーザーの裾野が広がる中、これらの需要を取り込むべくグローバルで販売網の拡充に努めています。新規分野への展開においては、医療機器や航空機、ロボット、再生可能エネルギーなど新たな分野で当社製品の採用が広がる中、従来品のみならず新規開発品の売上高の拡大を図っています。加えて、営業体制の強化やマーケティング戦略機能の強化により売上高の拡大に努めています。

当第3四半期連結累計期間においては、これまで強化してきた事業体制を活かしてグローバル規模で積極的な拡販に努めました。また、輸送用機器関連事業のさらなる拡大を目的として、当社グループは平成27年8月31日にTRM Automotive Inc. から欧州及び北米のL&S (リンケージ アンド サスペンション) 事業を譲り受け、THK RHYTHM AUTOMOTIVE (TRA) として4社を連結対象としました。これらに加え、為替が前年同期に比べて円安で推移したことなどから、連結売上高は前年同期に比べて124億3千3百万円(7.8%)増加し1,727億3千3百万円となりました。

コスト面では、将来の成長に向けた投資に伴う固定費の増加などにより、売上高原価率は前年同期に比べて1.2ポイント上昇し70.4%となりました。

販売費及び一般管理費については、売上高が増加する中でも各種費用の抑制や業務の効率化に努めた一方、事業譲受に伴う取得関連費用が12億6千2百万円発生したことなどにより、売上高に対する比率は前年同期に比べて1.4ポイント上昇し19.0%となりました。

これらの結果、営業利益は前年同期に比べて29億3千2百万円(13.8%)減少し182億9千3百万円となり、売上高営業利益率は2.6ポイント低下し10.6%となりました。

営業外損益では、営業外収益は、持分法による投資利益が5億7千1百万円となったことに加え、受取利息が3億1千1百万円となったことなどにより、18億3千1百万円となりました。営業外費用は、為替差損が22億6千6百万円となったことに加え、支払利息が3億1千4百万円となったことなどにより、29億1千5百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期に比べて92億3千5百万円(34.9%)減少し172億1千万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は69億3千1百万円(38.0%)減少し113億2千2百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

日本では、経済は緩やかな回復が続いたものの、生産や輸出など一部では弱い動きが見られました。そのような中、当社においては積極的な営業活動を展開するとともに免震・制震装置など新たな市場の開拓に努めましたが、スマートフォンなどに関わる投資に牽引されていた小型工作機械向けやエレクトロニクス関連の需要が減少したことなどにより、売上高は前年同期に比べて21億5千万円(2.4%)減少し880億7千6百万円となりました。利益面では、主に売上高の減少により、セグメント利益(営業利益)は前年同期に比べて21億3千7百万円(12.1%)減少し154億6千3百万円となりました。

(米州)

米州では、個人消費が好調に推移する中、輸出など一部では弱い動きが見られました。そのような中、当社においては製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、医療機器や航空機、エネルギー関連など新規分野の開拓に努めた結果、一般機械や輸送用機器向けなどにおいて売上高を増加させることができました。さらにTRA2社を連結対象とし、加えて為替が前年同期に比べて円安で推移したことなどにより、売上高は前年同期に比べて78億1千7百万円(31.0%)増加し330億4千9百万円、セグメント利益(営業利益)は7億8千5百万円(67.1%)増加し19億5千6百万円となりました。

(欧州)

欧州では、引き続き経済に回復の動きが見られる中、当社においては製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、航空機や鉄道車両、家財、宇宙防衛関連など新規分野を開拓すべく積極的な営業活動を展開しました。それらの結果、工作機械向けなどにおいて売上高を増加させることができました。加えて、TRA2社を連結対象としたことなどにより、売上高は前年同期に比べて40億9千9百万円(26.6%)増加し195億2千7百万円となりました。一方、利益面では、将来の成長に向けた施策を積極化させたことなどにより、セグメント利益(営業利益)は前年同期に比べて5億8千4百万円(40.6%)減少し8億5千6百万円となりました。

(中国)

中国では、経済成長は鈍化した一方、賃金の上昇や人手不足などを背景にFAが進展し当社製品への需要の裾野が着実に広がる中、これまで強化してきた販売網を活かし積極的な営業活動を展開しました。それらに加え、為替が前年同期に比べて円安で推移したことなどにより、売上高は前年同期に比べて21億3百万円(10.5%)増加し221億6千8百万円となりました。一方、利益面では、将来の成長に向けて投資を積極化させてきたことなどにより、前年同期に比べて10億5千3百万円減少し、セグメント損益(営業損益)は5億3千万円の損失となりました。

(その他)

その他では、アセアンにおいてはカスタマーサポートセンターを設置し、インドでも新たに販売拠点を開設するなど販売網の拡充を進める中、既存顧客の深耕を図るとともに新規顧客を開拓すべく積極的な営業活動を展開しました。それらに加え、為替が前年同期に比べて円安で推移したことにより、売上高は前年同期に比べて5億6千4百万円(6.0%)増加し99億1千1百万円、セグメント利益(営業利益)は1億1千5百万円(12.1%)増加し10億7千3百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、受取手形及び売掛金が88億5千6百万円、商品及び製品が32億6千7百万円、仕掛品が13億9千3百万円、原材料及び貯蔵品が31億5千1百万円、機械装置及び運搬具（純額）が55億7千9百万円、のれんが326億6千4百万円増加しましたが、現金及び預金が317億7千1百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ293億9千万円増加の4,030億1百万円となりました。

なお、第2四半期連結会計期間において、TRW Automotive Inc.の欧州及び北米のL&S（リンケージ アンド サスペンション）事業の譲受ならびに株式取得に伴い、のれんが発生しております。当該のれんの金額につきましては、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

負債は、支払手形及び買掛金が71億5千1百万円、短期借入金が240億9千7百万円、社債が100億円増加しましたが、1年内償還予定の社債が70億円、未払法人税等が59億3百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ298億6千6百万円増加の1,529億7千8百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が43億6千万円増加しましたが、為替換算調整勘定が51億9千万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ4億7千5百万円減少の2,500億2千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、本日（平成28年2月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、新たに設立したTHK RHYTHM AUTOMOTIVE MICHIGAN CORPORATION及びTHK RHYTHM AUTOMOTIVE CANADA LIMITEDを連結の範囲に含めております。また、新たに株式を取得したTHK RHYTHM AUTOMOTIVE GmbH及びTHK RHYTHM AUTOMOTIVE CZECH a. s. を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,262百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	155,239	123,468
受取手形及び売掛金	58,276	67,132
電子記録債権	5,174	5,124
商品及び製品	13,738	17,005
仕掛品	6,184	7,577
原材料及び貯蔵品	13,051	16,203
その他	8,895	11,464
貸倒引当金	△145	△114
流動資産合計	260,414	247,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,473	32,729
機械装置及び運搬具（純額）	44,307	49,887
その他（純額）	20,952	24,776
有形固定資産合計	97,732	107,392
無形固定資産		
のれん	580	33,244
その他	3,821	3,826
無形固定資産合計	4,401	37,071
投資その他の資産		
投資有価証券	8,096	7,612
その他	3,012	3,164
貸倒引当金	△47	△101
投資その他の資産合計	11,062	10,675
固定資産合計	113,196	155,140
資産合計	373,610	403,001

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,298	21,449
電子記録債務	15,255	16,520
短期借入金	149	24,247
1年内償還予定の社債	7,000	—
未払法人税等	7,413	1,509
賞与引当金	3,225	2,131
その他	12,828	13,970
流動負債合計	60,171	79,829
固定負債		
社債	43,000	53,000
長期借入金	10,000	10,000
役員退職慰労引当金	110	124
製品保証引当金	156	139
退職給付に係る負債	4,964	4,867
その他	4,708	5,018
固定負債合計	62,940	73,149
負債合計	123,112	152,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,606	34,606
資本剰余金	44,584	44,584
利益剰余金	158,463	162,824
自己株式	△13,943	△13,949
株主資本合計	223,711	228,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,312	1,061
為替換算調整勘定	22,940	17,750
退職給付に係る調整累計額	△166	△174
その他の包括利益累計額合計	24,086	18,636
非支配株主持分	2,701	3,320
純資産合計	250,498	250,023
負債純資産合計	373,610	403,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	160,299	172,733
売上原価	110,859	121,569
売上総利益	49,440	51,163
販売費及び一般管理費	28,213	32,870
営業利益	21,226	18,293
営業外収益		
受取利息	352	311
持分法による投資利益	444	571
為替差益	4,154	—
その他	857	948
営業外収益合計	5,809	1,831
営業外費用		
支払利息	266	314
為替差損	—	2,266
その他	323	333
営業外費用合計	590	2,915
経常利益	26,445	17,210
特別利益		
固定資産売却益	20	32
特別利益合計	20	32
特別損失		
固定資産除売却損	86	324
その他	—	0
特別損失合計	86	324
税金等調整前四半期純利益	26,379	16,918
法人税、住民税及び事業税	8,386	4,979
法人税等調整額	△319	911
法人税等合計	8,066	5,890
四半期純利益	18,313	11,027
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	59	△295
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,254	11,322

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	18,313	11,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	329	△247
為替換算調整勘定	△1,521	△4,598
退職給付に係る調整額	66	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△27	△697
その他の包括利益合計	△1,153	△5,546
四半期包括利益	17,160	5,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,013	5,873
非支配株主に係る四半期包括利益	146	△392

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米州	欧州	中国	その他	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
売上高								
外部顧客への売上高	90,226	25,232	15,428	20,065	9,346	160,299	—	160,299
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33,193	22	21	2,991	901	37,129	(37,129)	—
計	123,420	25,254	15,449	23,056	10,247	197,429	(37,129)	160,299
セグメント利益	17,600	1,170	1,441	523	957	21,694	(468)	21,226

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本、中国以外の各区分に属する主な国又は地域

(1) 米州……………アメリカ等

(2) 欧州……………ドイツ、フランス等

(3) その他……………台湾、シンガポール等

3. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米州	欧州	中国	その他	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
売上高								
外部顧客への売上高	88,076	33,049	19,527	22,168	9,911	172,733	—	172,733
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31,917	13	10	4,707	1,010	37,658	(37,658)	—
計	119,993	33,063	19,537	26,875	10,921	210,392	(37,658)	172,733
セグメント利益又は損失(△)	15,463	1,956	856	△530	1,073	18,819	(525)	18,293

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本、中国以外の各区分に属する主な国又は地域

(1) 米州……………アメリカ等

(2) 欧州……………ドイツ、フランス等

(3) その他……………台湾、シンガポール等

3. セグメント利益又は損失の調整額△525百万円には、セグメント間取引消去736百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,262百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。